

## 平成 24 年度 学部卒業生フォローアップ調査結果

### 〈調査概要〉

目的：寄せられた意見を今後の広島大学の教育・研究の改善に活かし、優れた人材育成に繋げていく。

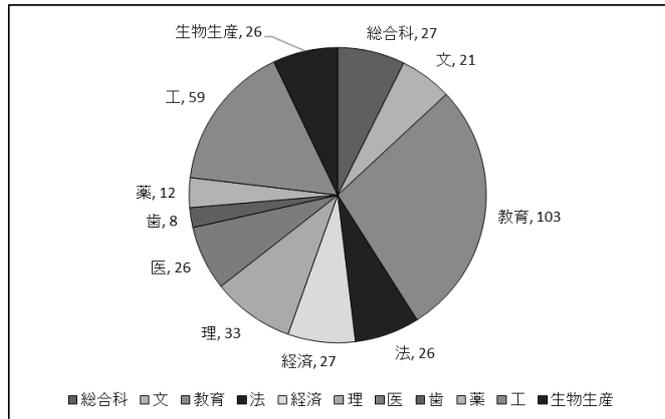
対象：2012 年度学部卒業生

方法：入学時の家族住所あて調査票を送付し本学あて返送。

期間：平成 30 年 12 月 26 日～平成 31 年 2 月 28 日

状況：発送数 2,404、未達数 179、回収数 368、有効数 368、回収率 15.31%

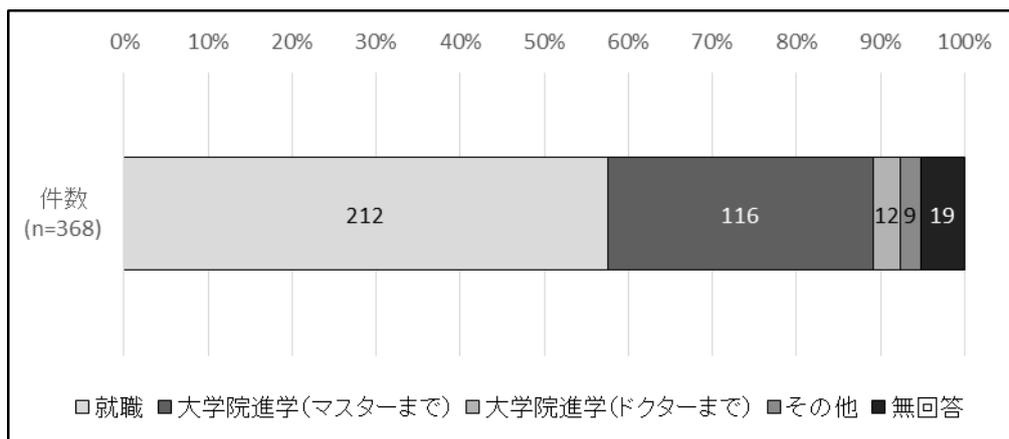
内訳：総合科学部 27、文学部 21、教育学部 103、法学部 26、経済学部 27、理学部 33、医学部 26、歯学部 8、薬 12、工学部 59、生物生産学部 26



### 〈調査結果〉

#### 【質問】 4. 学部卒業後の進路

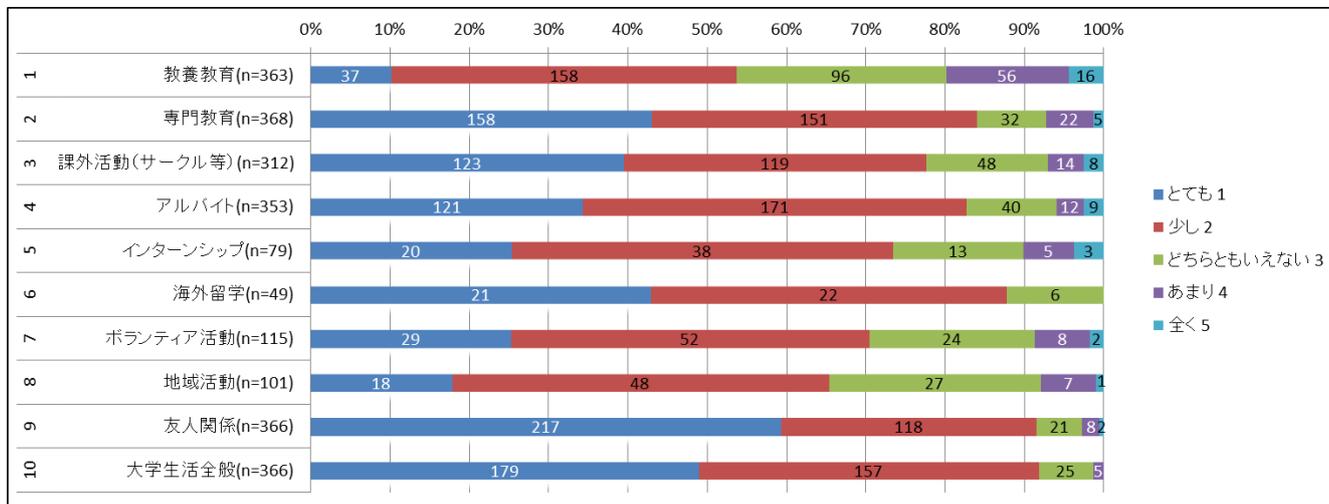
1. 就職
2. 大学院進学（マスターまで）
3. 大学院進学（ドクターまで）
4. その他



【質問】 5. 大学生生活全般の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 教養教育, 2. 専門教育, 3. 課外活動（サークル等）, 4. アルバイト, 5. インターンシップ, 6. 海外留学, 7. ボランティア活動,
8. 地域活動, 9. 友人関係, 10. 大学生生活全般,

【結果】 ※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらともいえない、あまり、全くの合計回答数を表す。「該当しない」及び「無回答」は除く。



最も評価が高い項目は、「10. 大学生生活全般」、「9. 友人関係」、「6. 海外留学」の順である。

「10. 大学生生活全般」と「9. 友人関係」で9割以上が“とても役に立った”か“少し役に立った”という評価になった。自由記述欄ではアルバイトやサークル活動などについて触れられることが多かったが、“人との関わり”を持つ事で進路先での仲間とのコミュニケーションや他業種とのチームワークに役に立っている事が高評価に繋がったようだ。「2. 専門教育」においては専門知識を活かせる職種に就職した人が多かった為か高評価になっている。

一方で、パソコンの操作やプレゼン能力を重要視しており、大学生時代にもっと教えて欲しいというような意見がしばしば見られた。

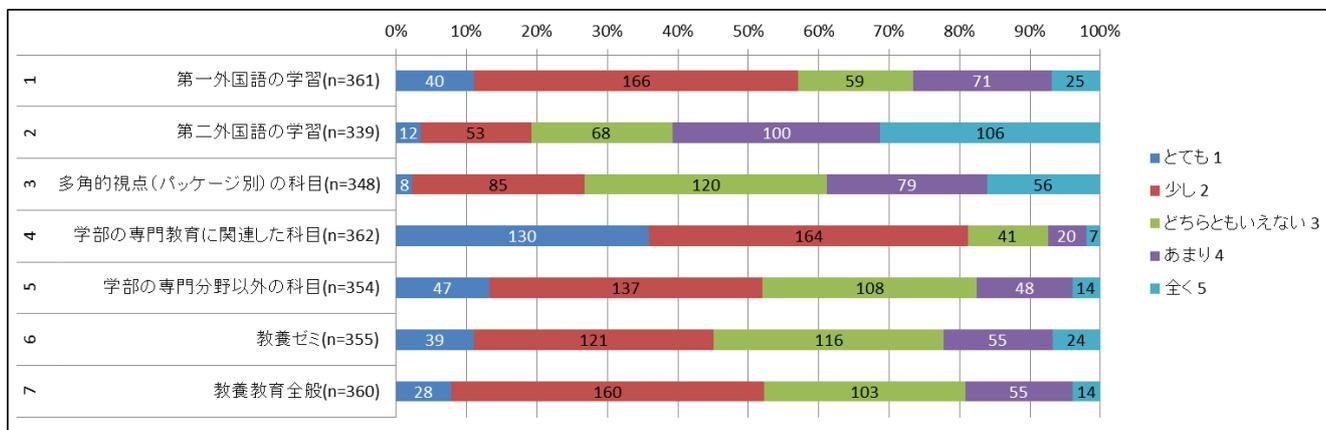
総合的には、大学生生活で経験した事が社会に出て役に立っているという意見が多く、責任感や協調性の基礎となっているようだ。

(6. 学士課程教育について)

【質問】(1) 教養教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 第一外国語の学習, 2. 第二外国語の学習, 3. 多角的視点(パッケージ別)の科目, 4. 学部の専門教育に関連した科目, 5. 学部の専門分野以外の科目, 6. 教養ゼミ, 7. 教養教育全般

【結果】※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらともいえない、あまり、全くの合計回答数を表す。「該当しない」及び「無回答」は除く。



最も評価が高い項目は、「4. 学部の専門教育に関連した科目」で、次いで「1. 第一外国語の学習」、「5. 学部の専門分野以外の科目」、「7. 教養教育全般」が同率の高評価であった。

「4. 学部の専門教育に関連した科目」については問5の記述にもあったが、専門的な知識を活かせる職種へ就職をした為か高評価に繋がったようだ。

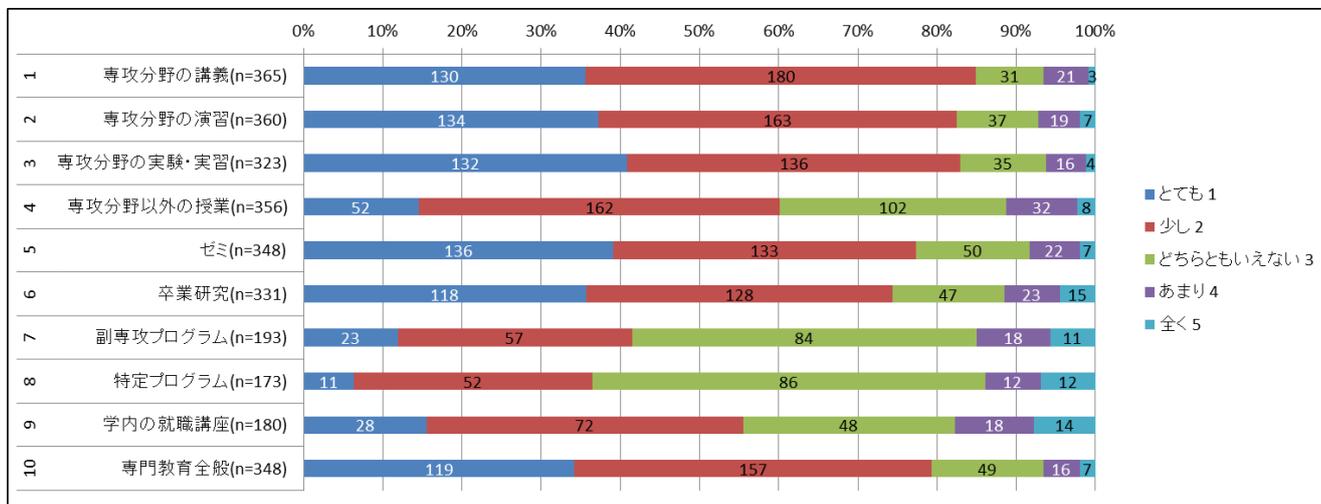
「1. 第一外国語の学習」、「5. 学部の専門分野以外の科目」、「7. 教養教育全般」については、直接的には役に立つことがなくても、コミュニケーションのキッカケになったり、幅広い知識により視野が広がった事が役立っているという評価に繋がっている。逆に自由記述で多く見られたのが「パソコンに関する講義」をもう少し多く行って欲しいという意見だった。

最も低かった「2. 第二外国語の学習」に関しては、近年の中国経済に関心が高い為か、WEBサイトや取引先とのコミュニケーションで中国語に接する機会が多いようだが、在学中には「将来役に立つのか」が不透明で力を入れていなかった人が多かったのか、結果「役に立っていない」という評価が多くなったようだ。

【質問】(2) 専門教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 専攻分野の講義, 2. 専攻分野の演習, 3. 専攻分野の実験・実習, 4. 専攻分野以外の授業, 5. ゼミ, 6. 卒業研究, 7. 副専攻プログラム, 8. 特定プログラム, 9. 学内の就職講座, 10. 専門教育全般

【結果】※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらともいえない、あまり、全くの合計回答数を表す。「該当しない」及び「無回答」は除く。



最も評価が高い項目は、「1. 専攻分野の講義」、「3. 専攻分野の実験・実習」、「2. 専攻分野の演習」の順に次いで「10. 専門教育全般」と「5. ゼミ」であった。

「1. 専攻分野の講義」、「3. 専攻分野の実験・実習」、「2. 専攻分野の演習」に関しては、自由記述で進路先でも「役に立った」や「もっと受けたかった」という意見が多く見られた事から、受講内容が充実していて有意義だったのだろうと思われる。一方で医学・歯学などでは実務との差が大きかったという意見もあった。

「10. 専門教育全般」と「5. ゼミ」については、広い視野と考え方などに大きく影響しているという意見が目立った。

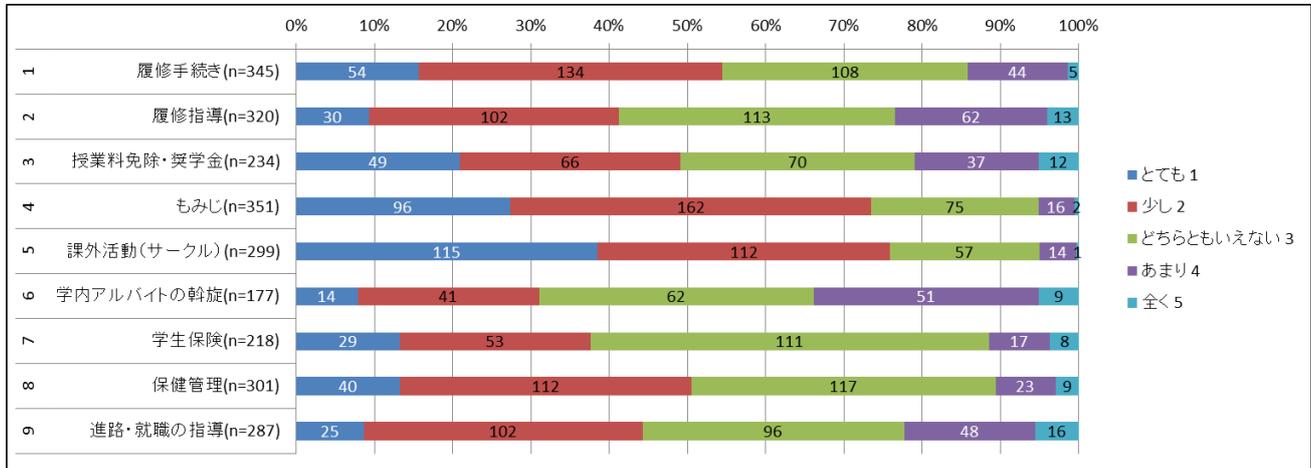
評価が低かった「7. 副専攻プログラム」「8. 特定プログラム」「9. 学内の就職講座」に関して、社会生活で様々な知識や技術が必要と実感している意見が多かった。専門外の事もしっかり身に付けておくことが重要と感じている人が多い為にこのような評価になったと思われる。

(7. 学生支援について)

【質問】 学生対応・支援で下の項目はどの程度、充実していましたか？

1. 履修手続き, 2. 履修指導, 3. 授業料免除・奨学金, 4. もみじ, 5. 課外活動 (サークル), 6. 学内アルバイトの斡旋, 7. 学生保険,  
8. 保健管理, 9. 進路・就職の指導

【結果】 ※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらともいえない、あまり、全くの合計回答数を表す。「該当しない」及び「無回答」は除く。



最も評価が高い項目は、「5. 課外活動 (サークル)」で、次いで「4. もみじ」, 「1. 履修手続き」であった。

「4. もみじ」に特筆する意見は無かったものの多くの方が大学生活中に役立てているのだと思われる。

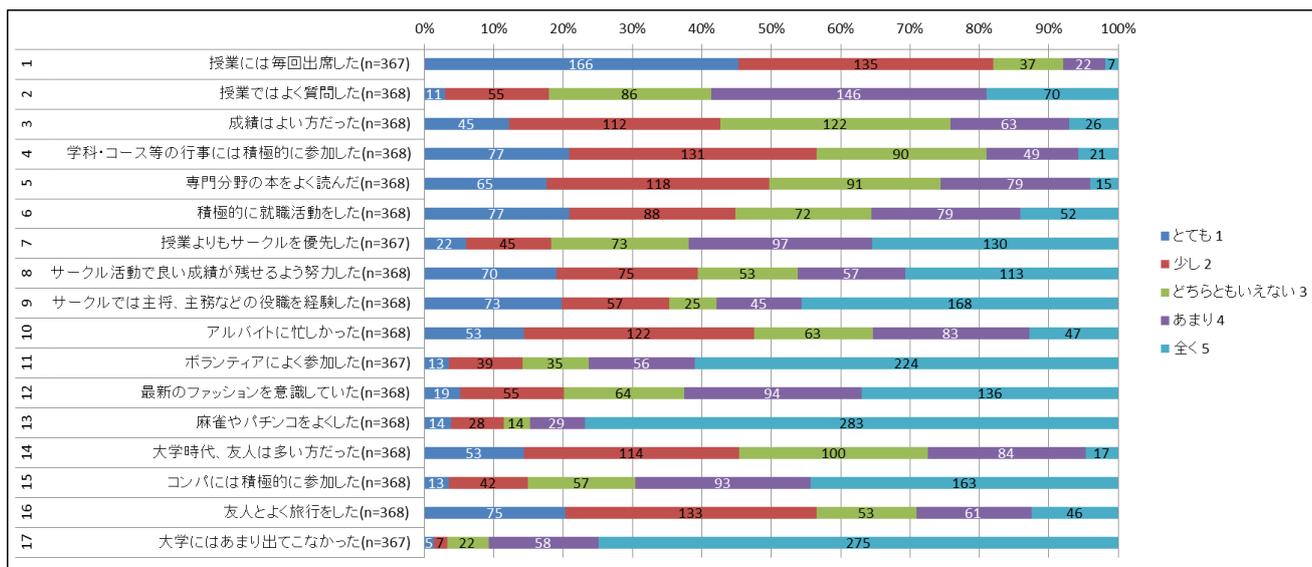
多く見られた意見としては、学生保険や奨学金、就職の情報が少なく充実を望む内容だった。また、全体的に学生支援への不満足意見が多く見られた。支援課職員の対応に差がある等の意見もあった。上手く利用できた人もいたようだが、多数の人が情報を上手く収集できず対応や内容に不足を感じ、教師や先輩に助言やサポートをしてもらうことが多かったようだ。

(8. 学生生活について)

【質問】(1) 下のような各項目は、学生時代のあなたにどの程度あてはまりますか？

1. 授業には毎回出席した
2. 授業ではよく質問した
3. 成績はよい方だった
4. 学科・コース等の行事には積極的に参加した
5. 専門分野の本をよく読んだ
6. 積極的に就職活動をした
7. 授業よりもサークルを優先した
8. サークル活動で良い成績が残せるよう努力した
9. サークルでは主将、主務などの役職を経験した
10. アルバイトに忙しかった
11. ボランティアによく参加した
12. 最新のファッションを意識していた
13. 麻雀やパチンコをよくした
14. 大学時代、友人は多い方だった
15. コンパには積極的に参加した
16. 友人とよく旅行をした
17. 大学にはあまり出てこなかった

【結果】※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらともいえない、あまり、全くの合計回答数を表す。「該当しない」及び「無回答」は除く。



最もあてはまる者が多かった項目は、「1. 授業には毎回出席した」で「4. 学科・コース等の行事には積極的に参加した」、「16. 友人とよく旅行をした」が同率であった。

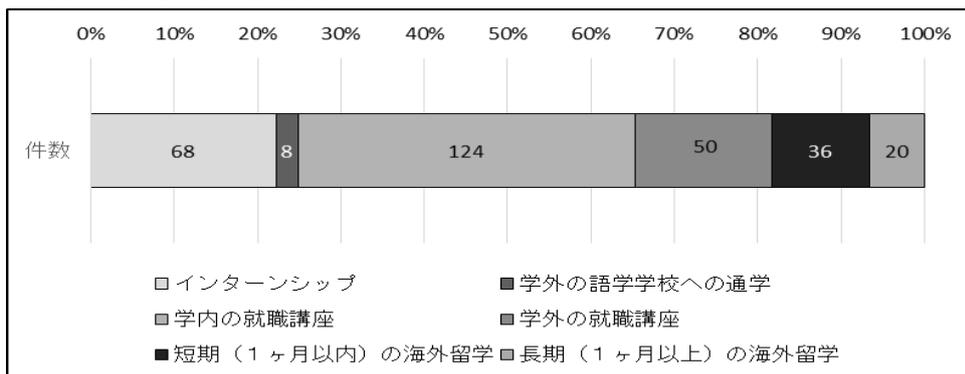
「1. 授業には毎回出席した」が圧倒的に多かったが、授業と人間関係を中心とした大学生活を重視していたという意見が多数見られた。それを裏付けるのが2番目に多かった「16. 友人とよく旅行をした」である。恐らくサークル活動やアルバイトに付随したものだと思われるが、大学の立地の影響もあつてか活発に友人との大学生活を過ごしていたのだと思われる。

逆にボランティア・ファッション・ギャンブル・コンパと言う外部と接触する活動では多くがあてはまらなかったのも、大学を中心とした生活を行っていた為ではと推察できる。

全体的には、学業・サークル・アルバイトの記述が多く見られた。

【質問】(2) あなたは次のような活動に参加しましたか。(複数回答)

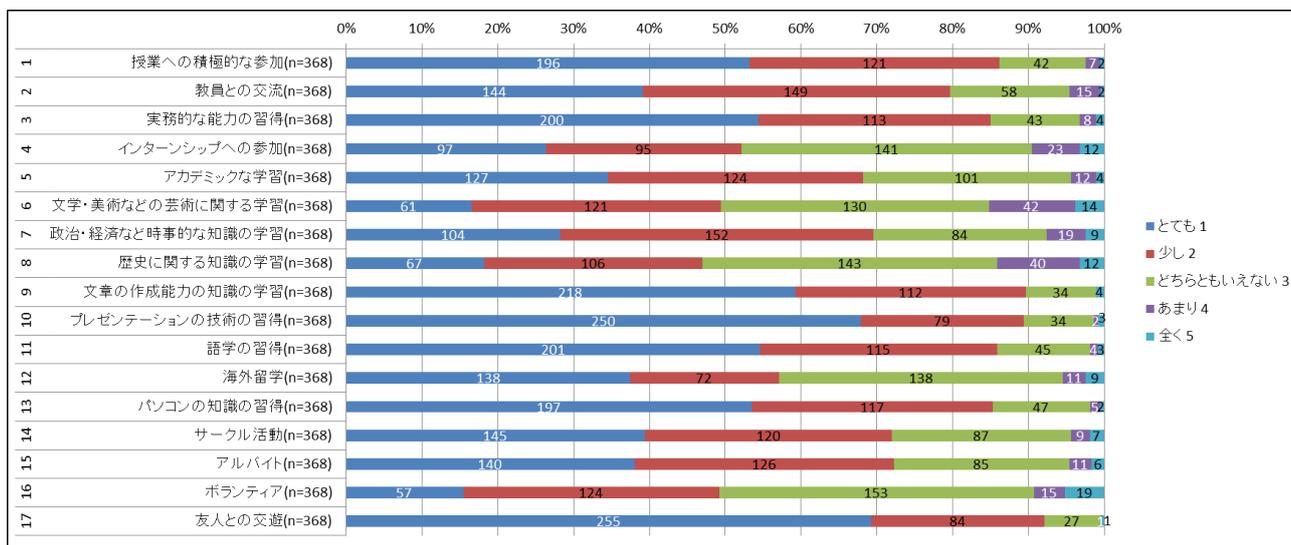
1. インターンシップ
2. 学外の語学学校への通学
3. 学内の就職講座
4. 学外の就職講座
5. 短期（1ヶ月以内）の海外留学
6. 長期（1ヶ月以上）の海外留学



【質問】(3) あなたが現在の学生にアドバイスするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

1. 授業への積極的な参加
2. 教員との交流
3. 実務的な能力の習得
4. インターンシップへの参加
5. アカデミックな学習
6. 文学・美術など芸術に関する学習
7. 政治・経済などの時事的な知識の学習
8. 歴史に関する知識の学習
9. 文章の作成能力の知識の学習
10. プレゼンテーションの技術の習得
11. 語学の習得
12. 海外留学
13. パソコンの知識の習得
14. サークル活動
15. アルバイト
16. ボランティア
17. 友人との交遊

【結果】※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらともいえない、あまり、全くの合計回答数を表す。「該当しない」及び「無回答」は除く。



最も「すすめる」が多かった項目は、「17. 友人との交遊」で、「9. 文章の作成能力の知識の学習」、「10. プレゼンテーションの技術の習得」とに次いで「1. 授業への積極的な参加」、「3. 実務的な能力の習得」、「11. 語学の習得」、「13. パソコンの知識の習得」がほぼ同率であった。

「とてもすすめる」という者が多かった「17. 友人との交遊」について、人との関わりについての重要性を書いた意見が多く見られた。その経験が社会でも活かされ、また長く交流していける存在になる等の理由から大切にするように書かれていた。

「10. プレゼンテーションの技術の習得」に次いで「9. 文章の作成能力の知識の学習」は社会に出てから活用する場面があることからすすめる意見が多かった。

また、全体的に時間の有効活用を説いた意見が散見された。特にアルバイトよりも学問・交友・学外活動などが多く、社会に出てから自由に使える時間が制限される為、興味を持った事に時間を割くようにという内容が多かった。